

参 考 資 料

- 1 秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議要綱及び別表 1・2
- 2 令和 3 年度世界遺産環境整備調査 調査結果報告書（鹿角市）
- 3 令和 3 年度世界遺産環境整備調査 調査結果報告書（北秋田市）

秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議の設置に関する要綱

〈趣旨〉

第1条 この要綱は、世界文化遺産、大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡の保存と活用を円滑に進めるため、関係者間の連携を強化し、課題や役割等の共有を図ることを目的とする、秋田県縄文遺跡群保存活用連絡会議（以下「連絡会議」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

〈所掌事項〉

第2条 連絡会議は、次の事項をつかさどる。

- (1) 県内構成資産の保存に関する事項
- (2) 県内構成資産の活用に関する事項
- (3) その他必要と認められる事項

〈組織〉

第3条 連絡会議は、別表1に掲げる委員で構成する。

〈役員〉

第4条 連絡会議に次の役員を置く。

- (1) 議長
 - (2) 管理委員
- 2 議長は、秋田県教育庁教育次長（管理）が務める。
 - 3 議長に事故があるとき、または運営上の必要が認められるときは、あらかじめ議長が指名する者がその職務を行う。
 - 4 管理委員は、次の職にある者が務め、議長を補佐する。
 - (1) 秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室長
 - (2) 鹿角市教育委員会大湯ストーンサークル館長
 - (3) 北秋田市教育委員会生涯学習課長

〈協力者〉

第5条 連絡会議に協力者を置く。

- 2 協力者は、別表2のとおりとする。
- 3 協力者は、連絡会議に、構成資産の保存に必要な情報の提供及び保全のための協力を行う。

〈会議〉

第6条 連絡会議は、議長が必要に応じ関係する委員を招集し、主宰する。

2 議長は、必要に応じ、協力者及び関係者に連絡会議への出席を求めることができる。

3 委員は、やむを得ない事情により会議に出席できないときは、代理者を出席させることができる。

〈事務局〉

第7条 連絡会議の事務は、秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室において処理する。

〈その他〉

第8条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は、議長が定める。

附 則

この要綱は、令和3年10月8日から施行する。

令和3年10月25日修正

令和4年4月1日修正

秋田県		
観光文化スポーツ部	観光振興課長	
	交通政策課長	
生活環境部	環境管理課長	
農林水産部	農林政策課長	
	森林整備課長	
建設部	都市計画課長	
	道路課長	
	河川砂防課長	
鹿角地域振興局	総務企画部長	
	農林部長	
	建設部長	
北秋田地域振興局	総務企画部長	
	農林部長	
	建設部長	
教育庁	文化財保護室長	
鹿角市		
総務部	政策企画課長	
市民部	生活環境課長	
産業部	産業活力課長	
	農業振興課長	
	農地林務課長	
建設部	都市整備課長	
農業委員会	事務局長	
教育委員会	大湯ストーンサークル館長	
北秋田市		
総務部	総合政策課長	
産業部	農林課長	
	商工観光課長	
建設部	都市計画課長	
	建設課長	
農業委員会	局長	
教育委員会	生涯学習課長	

鹿角市	
	十和田八幡平観光物産協会
	株式会社かづの観光物産公社（かづのDMO）
	秋北バス株式会社
	合資会社十和田タクシー
	一本木自治会
	大湯S Cの会
北秋田市	
	秋田内陸縦貫鉄道株式会社
	大館能代空港ターミナルビル株式会社
	北秋田地域素材活用推進協議会
	北秋田市観光物産協会
	一般社団法人秋田犬ツーリズム
	小ヶ田自治会
	伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ

令和3年度世界遺産環境整備調査
調査結果報告書
(鹿角市版)

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、世界文化遺産に登録された大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡の保存活用及び周辺部を含めた整備状況について、地元住民がどのような点に意見や課題意識を持っているかを把握し、今後の施策に生かす基礎資料を得ることを目的として実施した。

(2) 調査の内容

- ① 世界文化遺産に登録されたことについての認知度
- ② 遺跡見学経験の有無
- ③ 遺跡についての認識
- ④ 遺跡の整備や活用についての意見 等

(3) 調査の概要

本調査は、今回登録された遺跡がある鹿角市・北秋田市の2地域での調査で構成されている。

- ① 調査地域：鹿角市および北秋田市
- ② 調査対象：2市それぞれ18歳以上の市民1,000人（計2,000人）
- ③ 標本抽出方法：選挙人名簿をもとに無作為抽出
- ④ 調査手法：郵送による無記名式アンケート調査
- ⑤ 調査期間：令和3年11月30日（火）～同年12月15日（水）
- ⑥ 調査実施機関：株式会社フィデア情報総研

(4) 回収結果

- | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| ① 鹿角市 | 回収数 | 396 | 回収率 | 39.6% |
| ② 北秋田市 | 回収数 | 364 | 回収率 | 36.4% |
| ③ 全体 | 回収数 | 760 | 回収率 | 38.0% |

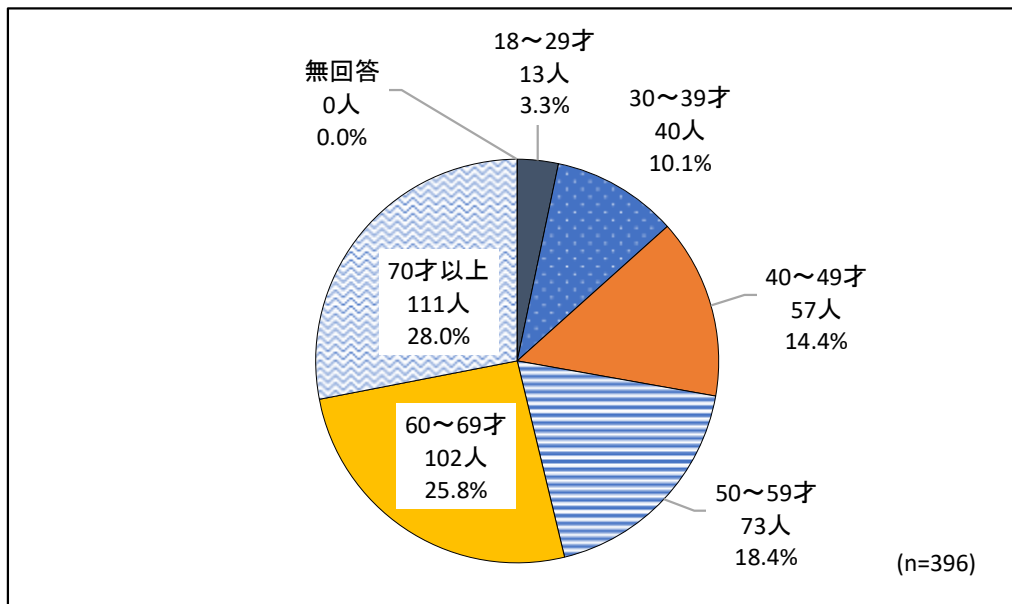
※12月17日（金）到着分の調査票を含む

(5) 報告書の見方

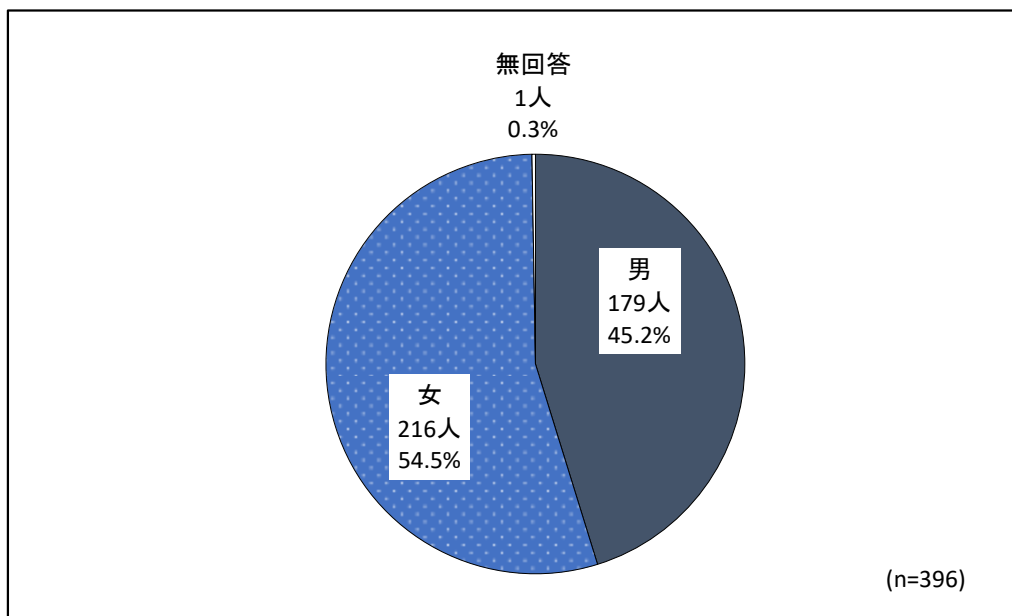
- ・ 調査数（n = Number of cases）とは、回答者総数または分類別の回答者数を示している。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問（「三つまで回答可」と記載のある設問）の場合、各設問の調査数を基数として回答比率を算出しているため、すべての選択肢の回答比率を合計すると100.0%を超える。

2 鹿角市調査 結果

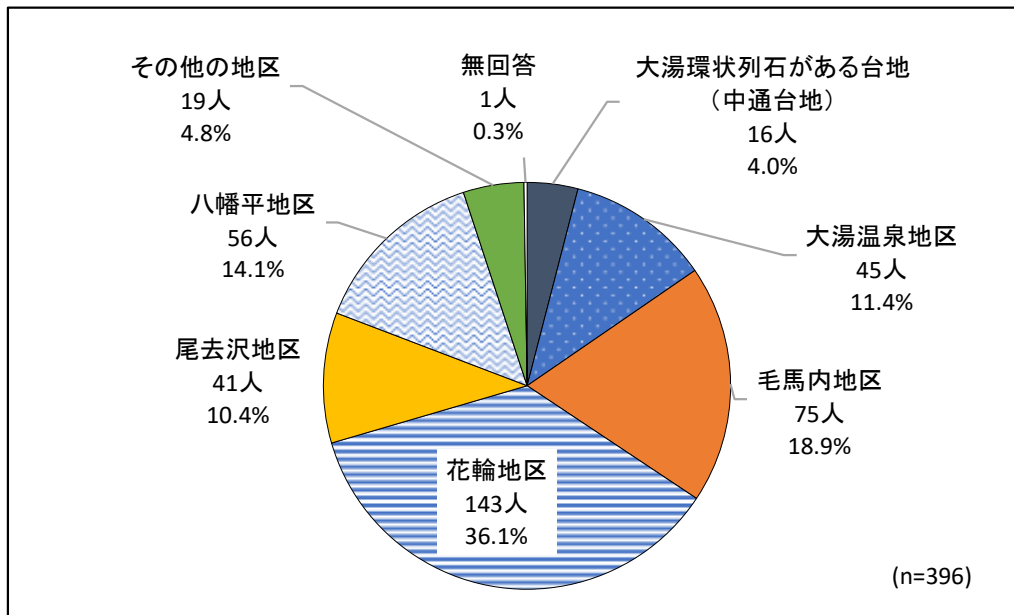
問1 回答者の年代



問2 回答者の性別



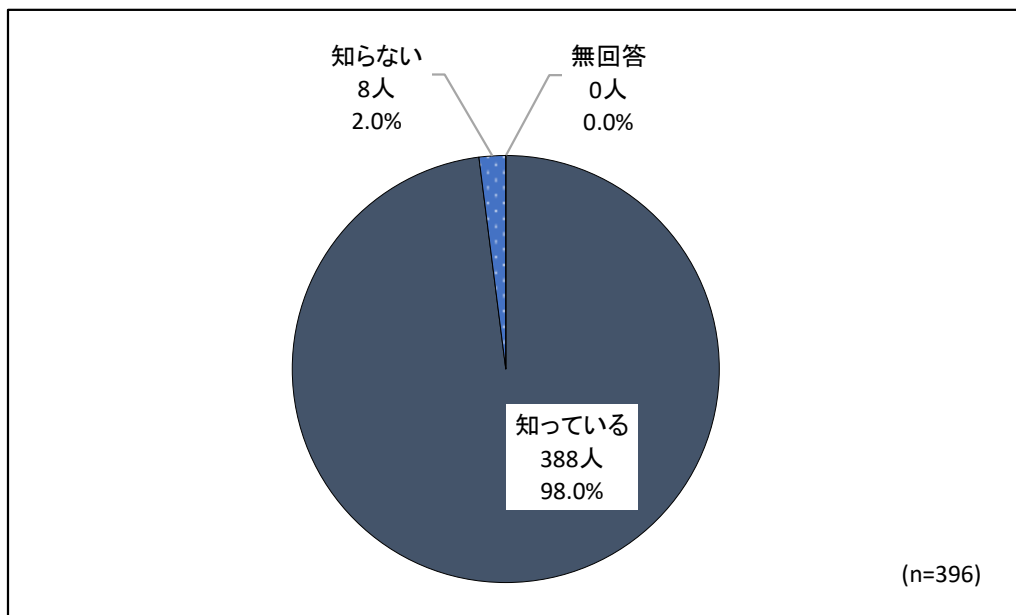
問3 回答者のお住まいの地域



問4 大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことをご存じですか。1つ選んで番号に○をつけてください。

「知っている」の割合が98.0%と極めて高い割合となった一方、「知らない」の割合は2.0%となった。

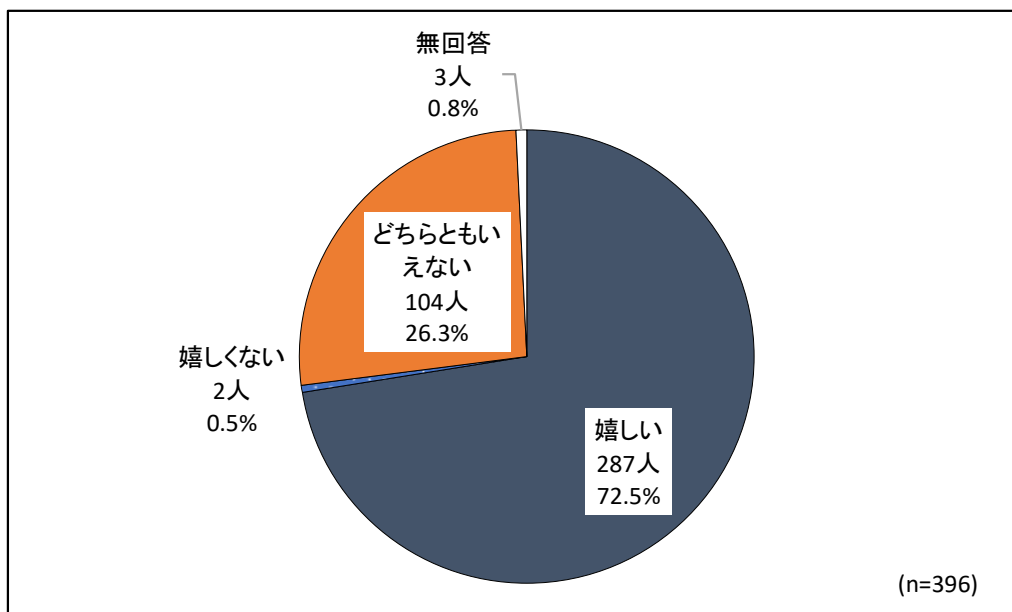
調査結果からは、大湯環状列石を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されたことが広く認知されている状況がうかがえた。



問5 大湯環状列石が世界遺産に登録されてどのように感じたか、1つ選んで番号に○をつけてください。

「嬉しい」の割合が72.5%と非常に高い割合となった一方、「嬉しくない」の割合は0.5%と極めて低い割合となった。

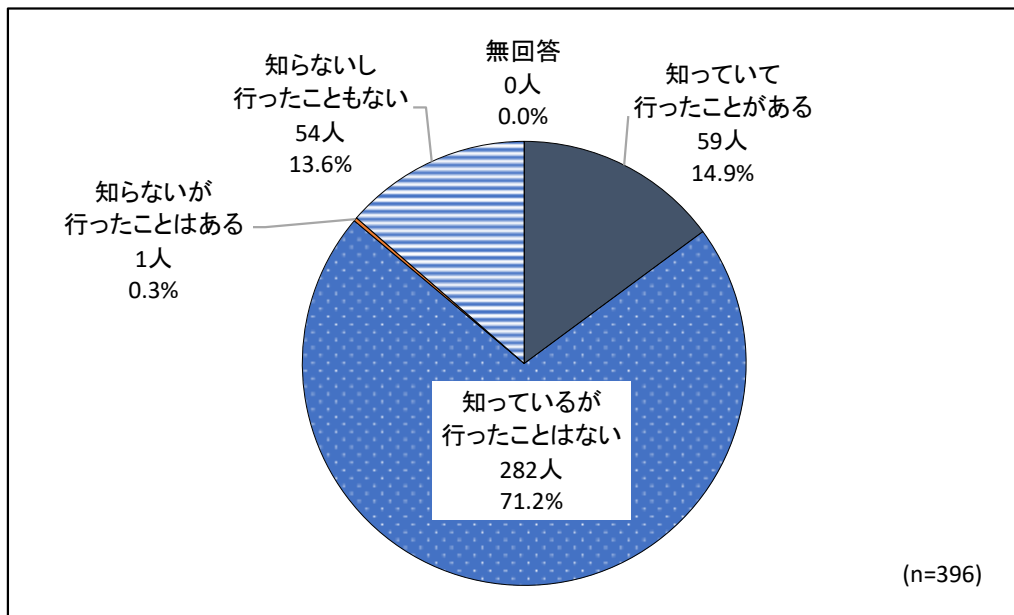
調査結果からは、大湯環状列石が世界遺産に登録されたことを喜ぶ状況がうかがえた。



問6 「北海道・北東北の縄文遺跡群」には、北秋田市の伊勢堂岱遺跡が含まれていることをご存じですか。また、行ったことはありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

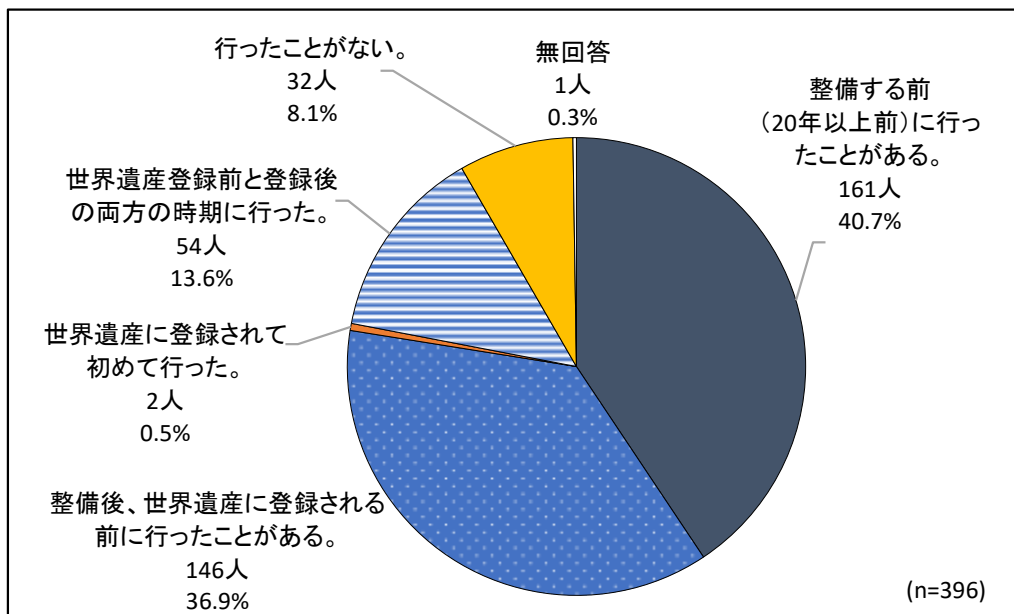
「知っているが行ったことはない」の割合が71.2%と非常に高い割合となり、これに「知っていて行ったことがある」の割合を合わせると86.1%となった。

調査結果からは、北秋田市の伊勢堂岱遺跡が「北海道・北東北の縄文遺跡群」に含まれることが広く認知されている一方、大半が訪れたことがない状況がうかがえた。



問7 大湯環状列石を見学したことはありますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

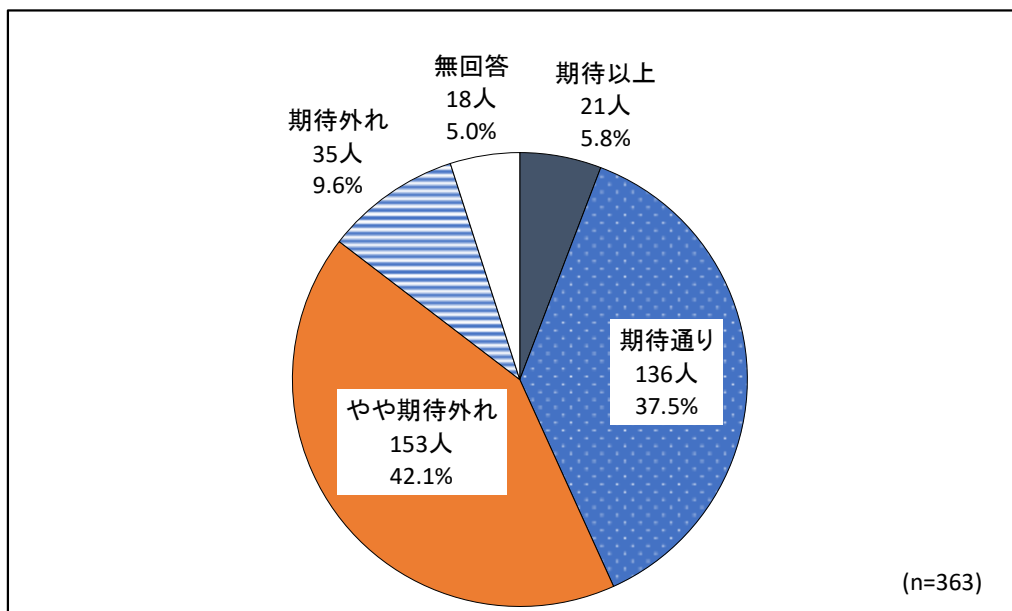
「整備する前（20年以上前）に行ったことがある。」（40.7%）と「整備後、世界遺産に登録される前に行ったことがある。」（36.9%）がともに4割前後と高い割合となった。



問8 問7で1～4を選んだ方に伺います。

現地を訪れた感想として、当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

「期待以上」と「期待通り」の割合の合計が43.3%となった一方、「やや期待外れ」と「期待外れ」の割合の合計は51.7%となった。



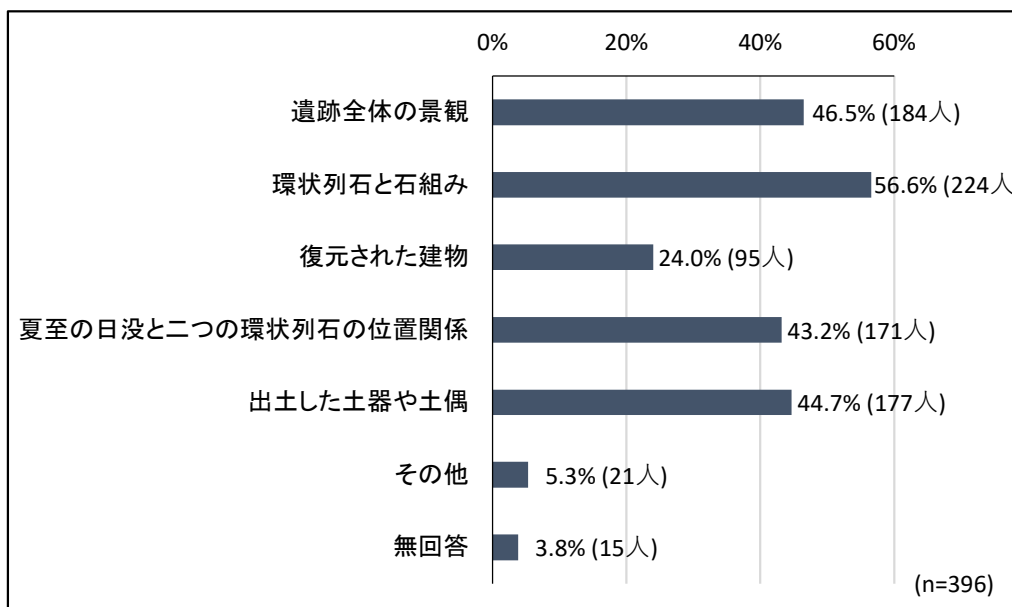
問9 問8の回答を選択した理由をお聞かせ下さい。

個別回答を見ると、「期待以上」または「期待通り」の理由として、景観や展示物、案内ガイドの説明が良かったという意見のほか、当時の人々の生活を感じることができるといった意見が見られた。

一方、「やや期待外れ」と「期待外れ」の理由としては、遺跡の良さや見どころ、価値が分からないといった意見が多く見られたほか、ガイドや案内等説明の不足や、売店や飲食スペースを望む意見が見られた。

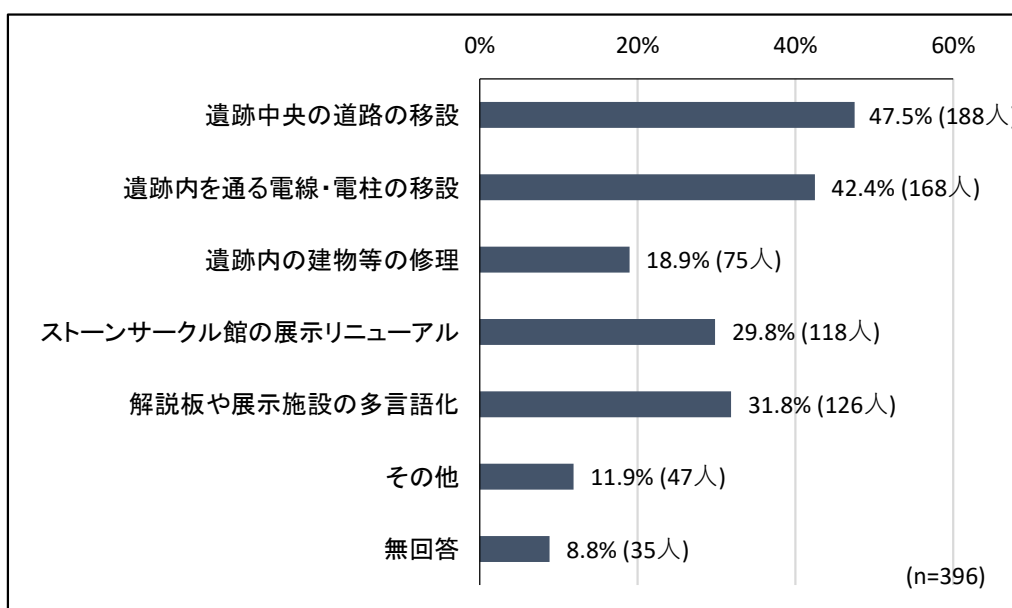
問 10 大湯環状列石の良い所、または重要な所と思うものを選んで番号に○をつけてください。(三つまで回答可)

「環状列石と石組み」の割合が 56.6%で最も高く、これに「遺跡全体の景観」(46.5%)、「出土した土器や土偶」(44.7%)、「夏至の日没と二つの環状列石の位置関係」(43.2%) がいずれも 4 割台で続いた。



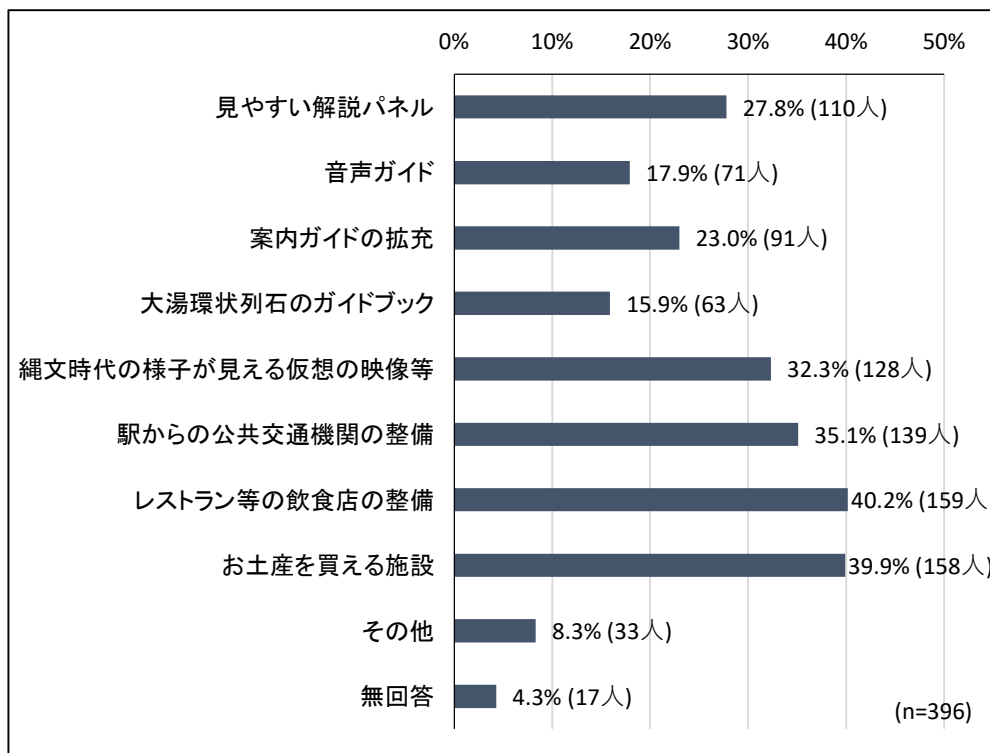
問 11 大湯環状列石で今後整備が必要と思うものを選んで番号に○をつけてください。(三つまで回答可)

「遺跡中央の道路の移設」の割合が 47.5%で最も高く、次いで「遺跡内を通る電線・電柱の移設」(42.4%) が高い割合となった。



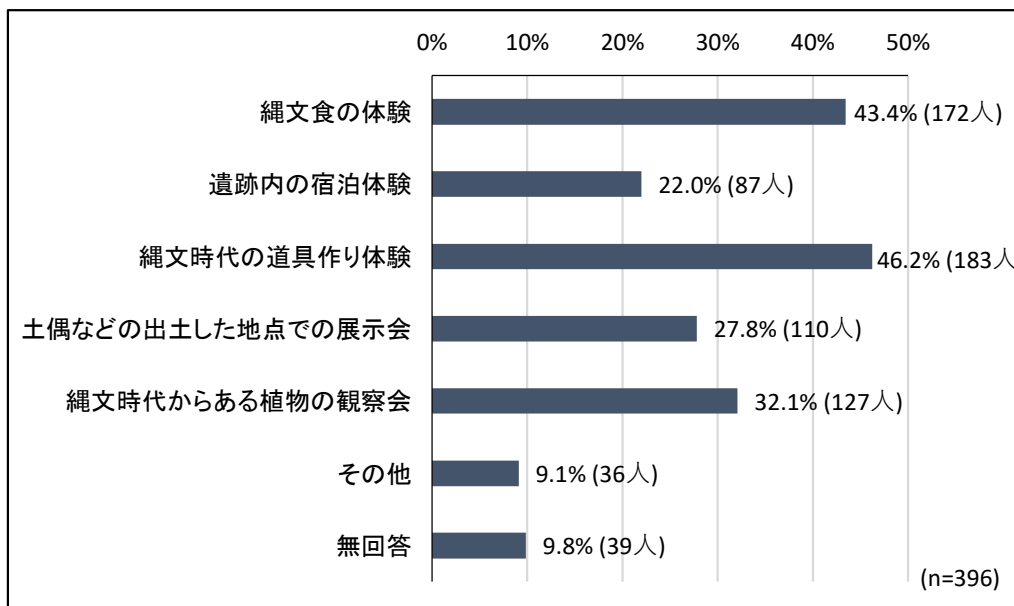
問 12 遺跡を多くの人に楽しんでもらうために必要だと思うものを選んで番号に○をつけてください。(三つまで回答可)

「レストラン等の飲食店の整備」の割合が 40.2%で最も高く、これに「お土産を買える施設」(39.9%)、「駅からの公共交通機関の整備」(35.1%)、「縄文時代からの様子が見える仮想の映像等」(32.3%) がいずれも 3 割台で続いた。



問 13 遺跡のイベントで、実施されたら参加してみたいと思うものを選んで番号に○をつけてください。(三つまで回答可)

「縄文時代の道具作り体験」の割合が46.2%で最も高く、次いで「縄文食の体験」(43.4%)が続き、この2項目が4割台と他の項目に比べて高い割合となった。



問 14 県外から大湯環状列石を訪れた方に、合わせて訪れて欲しい鹿角市のおススメの場所を教えてください。

個別回答を見ると、十和田湖、あんたらあ（道の駅かづの）、史跡尾去沢鉦山（マインランド尾去沢）、温泉が多く挙げられている。

問 15 世界遺産となった大湯環状列石には、今後どのようなことを期待しますか。

個別回答を見ると、積極的なPRによる遺跡の知名度向上や観光客の増加を期待する意見や、案内板の多言語化や関連施設の充実など今後の設備に関する意見が多く見られた。

また、大湯環状列石が世界遺産に登録されたことを契機として、市の魅力向上や活性化につながることを期待する意見も見られた。

令和3年度世界遺産環境整備調査
調査結果報告書
(北秋田市版)

1 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、世界文化遺産に登録された大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡の保存活用及び周辺部を含めた整備状況について、地元住民がどのような点に意見や課題意識を持っているかを把握し、今後の施策に生かす基礎資料を得ることを目的として実施した。

(2) 調査の内容

- ① 世界文化遺産に登録されたことについての認知度
- ② 遺跡見学経験の有無
- ③ 遺跡についての認識
- ④ 遺跡の整備や活用についての意見 等

(3) 調査の概要

本調査は、今回登録された遺跡がある鹿角市・北秋田市の2地域での調査で構成されている。

- ① 調査地域：鹿角市および北秋田市
- ② 調査対象：2市それぞれ18歳以上の市民1,000人（計2,000人）
- ③ 標本抽出方法：選挙人名簿をもとに無作為抽出
- ④ 調査手法：郵送による無記名式アンケート調査
- ⑤ 調査期間：令和3年11月30日（火）～同年12月15日（水）
- ⑥ 調査実施機関：株式会社フィデア情報総研

(4) 回収結果

- | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|-------|
| ① 鹿角市 | 回収数 | 396 | 回収率 | 39.6% |
| ② 北秋田市 | 回収数 | 364 | 回収率 | 36.4% |
| ③ 全体 | 回収数 | 760 | 回収率 | 38.0% |

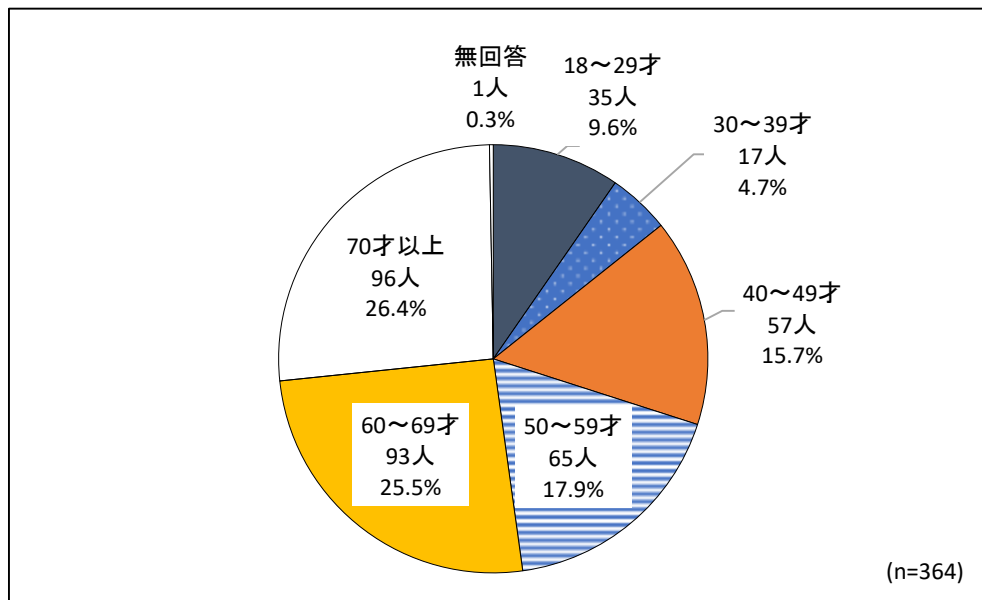
※12月17日（金）到着分の調査票を含む

(5) 報告書の見方

- ・ 調査数（n = Number of cases）とは、回答者総数または分類別の回答者数を示している。
- ・ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の設問（「三つまで回答可」と記載のある設問）の場合、各設問の調査数を基数として回答比率を算出しているため、すべての選択肢の回答比率を合計すると100.0%を超える。

2 北秋田市調査 結果

問1 回答者の年代



問2 回答者の性別

